### ★お祝いのことば★ 厚木南公民館運営委員会 委員長 望月 喜代志

厚木公民館から「厚木南公民館と名称変更して50年」これを記念し、この度、 公民館だより特別号を発行されますこと心よりお祝い申し上げます。

公民館は地域住民の教養の向上、健康維持のための取り組み、情報の共有、 生活文化の振興等を目的として設立されました。

その後、長きにわたり公民館を更に活発に展開するために多くの方々のご尽力

・ご協力を賜りましたことに敬意をご協力を賜りましたことに敬意を表し、改めて

私事ですが厚木に生まれ104年の酒店として、人と人との絆を大切に、文化と 共に楽しい空間、時間を酒で演出したいという思いでやってきました。お陰様で繋昌です。

公民館活動も『盆踊り大会』・『運動会』・『公民館まつり』・『芸能発表会』・『どんど焼き』 など皆さまと共に取り組み、楽しんでまいりました。どれも思い出深いですが、公民館活動を通じて、 子どもたちの元気いっぱいの笑顔と多くの地域の方々の力が結集され実現される団結力は特に記憶に 残っております。こうした交流から、身近な場所としての公民館であり続けたいと願います。

#### 楽しく元気で歩み続けて参りましょう、皆さまと共に。

### ★お祝いのことば★ 厚木南地区自治会連絡協議会 会長 宮田 幸紀

厚木南公民館と名称変更して50年。誠におめでとうございます。 厚木南公民館は、建物が新しいことや本厚木駅に一番近い場所にあるという 立地条件からか毎日利用者で一杯になっており、厚木市の社会教育振興の中心 になっております。

公民館は社会教育法第20条によると地域住民の生活文化の振興、社会福祉の 増進に寄与することを目的にすることになっております。この目的達成のために 厚木南公民館は、開館以来先人たちの努力もあって地域住民・学校との交流の場 や地域コミュニティ活性化のための中心的な役割を果たしてきました。

私が公民館長に在籍していた時、東日本大震災が発生し、その際、計画停電により

南地区が停電となり交通信号機が止まった中で厚木第二小学校の児童が下校することになりました。

この時、公民館が中心となり自治会、老人クラブ、民生委員・主任児童委員、交通安全母の会などに 声をかけた結果、約70名の方が通学路を一斉にパトロールし、無事に児童を帰宅させることができま した。このことは、50年前から公民館が中心となり地域の皆さまが互いに協力し合い、地域の発展に 寄与しているからだと思っております。

今後とも地域のための公民館であってほしいと願っております。

# ★お祝いのことば★ 厚木市議会 議長 井上 武

この度、厚木南公民館が開設50周年を迎えられましたことにつきまして、厚木 市議会を代表いたしまして心からお祝い申し上げます。これもひとえに、歴代の 公民館長、自治会長をはじめ、厚木南地区の役員の皆さま及び関係者の方々のご尽 力の賜物であり、深く敬意を表する次第でございます。 50年前、厚木南公民館は本厚木駅の南側に位置する旭町三丁目に建設され、

社会教育や地域コミュニティの拠点として親しまれてきましたが、建物の老朽化が 進み平成29年に、当時では全国的にも例の少ない単独公民館としての建て替えが実現 し、現在の場所へ移転しました。この建設に際しましては、地域の皆さまからたくさんの ご要望をいただき「みんなに愛される公民館を建設しよう」を合言葉に、自治会長はじめ各種役員の皆 さまと連日にわたる意見交換を重ねた結果、当初より大幅に早く建設できたことは大変誇らしく思って おります。現在、子どもから高齢者の方まで幅広く愛され、誰もが気軽に訪れる憩いの場となっている のも、当時の関係者の方々のご理解やご協力、そして何よりも「地域を少しでも良くしていきたい」と

いう南地区の皆さまの熱い思いが一つになったからこそだと改めて感謝と敬意を表したいと思います。 さて、この50年の間に地域を取り巻く環境は、少子高齢化社会の到来や記録的な豪雨など自然災 害・新型コロナウイルス感染症の脅威など大きく変化し、このような状況下で、地域住民の出会いや交 流、つながりの拠点になる公民館の役割はより一層重要になっていくものと認識しており、今後も地域 の皆さまと心ひとつに公民館が発展していくことを願っております。

結びに、これまでご尽力を賜りました関係者の皆さまに改めてお礼を申し上げますとともに、皆さま 方のご健勝をご祈念申し上げお祝いのごあいさつとさせていただきます。

50周年の節目を迎え、半世紀もの間、公民館が社会教育や地域コミュニティの拠点として親しまれる存在とな れたのも、地域の皆さまの支えがあり、伝統を守り、文化を継承してこられた厚木南地区の先人たちのご活躍が

あったからこそだと強く実感しております。これからも歴史と 文化の重みを受け止め、伝統を誇りに感じ、地域の皆さまに親 しまれる公民館であり続けられるよう尽力してまいりますので、 次の50年に向けて更なるご理解とご協力を賜りますようよろ しくお願い申し上げます。 ◆厚木南公民館職員一同◆

行:厚木南公民館

所:厚木市旭町2-4-18 電 話:046-228-0582 FAX: 046-220-1751

メール: 8612@city.atsugi.kanagawa.jp



# 開館50周年記念特別号

厚木南公民館は、昭和47年(1972年)7月1日に旧名称厚木公民館から

厚木南公民館へ名称変更し、令和4年(2022年)に50周年を迎えました。

# 〇あいさつ〇 厚木市長 小林 常良

厚木南公民館は、誕生から50年を迎えることができました。 これもひとえに、地区館長や自治会長をはじめ、地区の皆さまの格別なる ご理解とご協力の賜物であると心からお礼申し上げます。

厚木南公民館は、市街地の特色を生かした社会教育や地域コミュニティーの 拠点として親しまれてきました。開館当初は厚木公民館という名称でしたが、 昭和47年に館名を変更。平成29年には、駅近に移転して施設をリニューアル しました。新施設になっても、変わらず地域の方々に愛され、誰もが気軽に集え る場となっています。



地域と共に歩んできた半世紀の間に、社会情勢は大きく変わりました。少子高齢化の波は加速し、 人口減少社会が到来。加えて、自然災害の脅威や新型コロナウイルス感染症の流行などにより、生活 様式まで変化を余儀なくされました。こうした状況だからこそ、人同士のつながりや地域の絆はます ます大切なものになっています。今後も、公民館が地域コミュニティー活性化のための役割を担い、 地域の絆をさらに深めることができるよう、力を尽くしてまいります。皆さまにも、ぜひ変わらぬ お力添えをいただき、次の50年も笑顔あふれる地区であるために手を携えて前に進んでいきましょう。 結びに、地域の皆さまのご健勝、そして厚木南地区のさらなるご発展を祈念いたしまして、お祝い のあいさつといたします。

### 〇あいさつ〇 厚木市教育委員会 教育長 佐後 佳親

厚木南公民館が、本年、開館50周年を迎えました。

厚木南地区にお住いの皆さま方には、公民館を学習や研修などの学びの場と して、また、スポーツや趣味のサークル活動など楽しむ場として、更には、ふれ あいや語りあう憩いの場としてご利用いただいておりますことを心より嬉しく 思っております。厚木南公民館は、本厚木駅に近く、その利便性から学生や社会 人の方々の利用も多く、この特性を生かした"あらゆる世代に親しまれる公民館 を目標として尽力しているところでございます。ここ数年は新型コロナウイルス感染

症の拡大により、社会教育の学習の機会の提供が困難となり、人と人とのつながりが希薄になってし まうことが危惧される中、地域の方々と一緒に考えながら、公民館として何が出来るのかを模索して、 少しずつですが事業を展開しはじめているところです。社会教育を通じて学ぶことは多種多様であり、 公民館は地域の皆さまにとってなくてはならない大切な学びの場であると認識しております。

50周年という節目の年を迎え、これからも厚木南地区の皆さまが郷土への誇りを感じ、絆を深め、 文化や歴史を次世代につないでいけるような教育を推進することを全力で取り組んでまいりますので、 引き続きお力添えをお願いいたします。

## 〇あいさつ〇 厚木南公民館 地区館長 石井 晃

昭和47年7月に旧厚木公民館の名称を変更して50年、地域の皆さまの温かい ご支援とご協力のもと、職員一丸となり、地域の歴史と文化を継承した様々な事業 を展開し、公民館の使命と役割を果たして今日を迎えることができました。

地域の皆さま、公民館事業にご理解とご支援、ご協力を賜り大変感謝いたします。 さて、国内に目を向けると、新型コロナウイルス感染症をはじめ、地震、風水害 などの自然災害に見舞われ、大変なご苦労をされて生活している人がおります。

人と人が助け合い、絆を深めることが大切な時代に、世界に目を向けると、人間同 士が殺し合い、暴力にあらがうにはあまりにも非力な子どもたちまでもが犠牲になっ ている現実があります。この現実に対し、地域の皆様が助け合い、絆を深め、よりいっ そう、心温まる人間関係が構築できるような公民館事業を展開してまいります。

その際に、『感謝します』・『ありがとう』の二つの言霊を大切にしたいと思っています。 地域の皆さまには、公民館だより特別号の発行及び、50周年記念展示において、資料の提供やご助 言を頂きました事に、心より感謝と御礼を申し上げあいさつとさせていただきます。

# 厚木南公民館と厚木市の歴史

	<b>序个用</b>
年	厚木南公民館と厚木南地区の主なできごと
S38	厚木第二小学校開校
S47	厚木公民館から厚木南公民館(旭町三丁目)へ名称変更 初代館長:西山 三吉 氏
S49	厚木南児童館開館 第二代館長:聖代橋 芳雄 氏 就任
S50	ひまわり児童館開館
S54	厚木南公民館 木造から鉄筋コンクリート造へ
S55	第三代館長:吉田 省吾 氏 就任
S57	『公民館だより』発行開始(回覧での配布) 公民館に市役所連絡所が開設され、住民票等交付開始
S61	公民館だよりから『厚木南公民館だより』へ名称変更
S62	耐震性貯水槽(飲料水兼用)を厚木第二小学校地下に整備
H元	厚木南公民館だより全戸配布開始(4/15号から)
H4	第四代館長:松尾 敏男 氏 就任
H5	厚木南公民館を増築し、2階2部屋、3階1部屋増設
H11	厚木南地区市民センターが開設され、公民館と併設となる 公民館貸館業務が無休になる
H13	厚木第二小学校 単独給食調理場開設
H14	第五代館長: 今井 豊 氏 就任 厚木南地区安心・安全なまち会議を設立
H16	第六代館長:小林 正義 氏 就任 防犯モデル地区に泉町・旭町1丁目を指定 市制50周年を記念し、厚木南地区旗を作成
H17	厚木南地区地域福祉推進委員会を発足 厚木南地区地域子ども教室『わいわいクラブ』スタート
H18	第七代館長:宮田 幸紀 氏 就任
H20	厚木南老人憩の家『みなみふれあいプラザ』開館
H24	第八代館長:會田 昇 氏 就任
H25	相模川ローズガーデンがオープン、厚木南公民館建て替えのため『厚木南公民館建設促進委員会』を発足
H26	南口ホコ天まつり(前身はあさひ公園まつり)スタート
H29	勤労福祉センター跡地(旭町二丁目)に厚木南公民館完成
H30	第九代館長:石井 晃 氏 就任
R2	館長から地区館長になる あさひ公園リニューアル(地下に雨水貯留施設を整備)
R3	本厚木駅南口再開発事業が完了



▲昭和40年代後半 本厚木駅南口



▲平成元年 旭町郵便局前



▲公民館まつり(H27.11)



▲どんど焼き(H29.1)



▲現在の厚木南公民館



▲落成式の様子(H29.4)

# 厚木市の主なできごと

- S30 厚木町、南毛利村、睦合村、小鮎村及び玉川村が合併し、厚木市が誕生 その後、相川村、依知村を編入
- S31 荻野村を編入
- \$37 人口:50,000人
- S39 厚木市民憲章を制定
- S44 市の木「もみじ」・市の花「さつき」を制定
- S48 人口: 100,000人
- S51 小田急線本厚木駅の新駅舎が完成
- S53 厚木市文化会館オープン
- S56 人口: 150, 000人
- S57 小田急線本厚木駅ビルが完成
- S58 米国・ニューブリテン市と友好都市を締結
- S59 地下道、バスセンター完成、中国・揚州市と友好都市を締結
- S60 秋田県・横手市と友好都市を締結
- H元 荻野運動公園競技場オープン
- H3 人口:200,000人
- H8 「あゆみ橋」開通、埼玉県・狭山市と「防災姉妹都市」締結
- H10 かながわ・ゆめ国体開催 厚木市では、ソフトボール、ソフト テニス、弓道を開催
- H12 ぼうさいの丘公園オープン
- H14 特例市としてスタート
- 山山 市制施行50周年
- '''' 韓国・軍浦市、北海道・網走市と友好都市を締結
- H20 第3回B-1グランプリで厚木シロコロホルモンがグランプリを受賞
- H22 第5回B-1グランプリを厚木で開催(首都圏初開催) セーフコミュニティ認証取得、自治基本条例施行
- H24 厚木市市民参加条例、市民協働推進条例施行
- H26 アミューあつぎグランドオープン
- H27 市制施行60周年 あつぎ市民ふれあい都市宣言、セーフコミュニティ再認証取得
- H30 沖縄県・糸満市と友好都市を締結
- R3 セーフコミュニティ再々認証取得
- R4 人口(10/1現在):224,095人